

オリンピックと人権

レガシーの継承と教育プログラム



オリンピズム（オリンピック精神）とは、人間形成、スポーツと文化と教育の融合、相互理解に基づいた交流と機会均等などを重視する考え方で、そこには一貫して人権の尊重がうたわれています。1964年の東京大会においても、競技施設やインフラ整備など目に見えるレガシー（遺産）ばかりではなく、スポーツ文化の発展や、オリンピック教育、デザインや技術の発達など、その影響はさまざまな分野に及びました。2020年のオリンピック・パラリンピック大会開催に向けて、私たちが取り組むべき課題を人権の視点から考える機会として、本講座を開催します。

日時

平成26年7月11日(金)
19:00-20:45 (開場 18:30)

会場

文京シビックセンター
スカイホール (26階)

文京区春日1-16-21 裏面の地図をご参照ください。

講師

ますもと なおふみ
舩本直文さん
首都大学東京 教授



※ピクトグラムによる案内表示は1964年東京大会から採用されました。

定員 100名 参加費 500円 (お申し込み方法は裏面をご覧ください。)

公益財団法人 東京都人権啓発センター

〒111-0023 東京都台東区橋場1-1-6 電話 03-3876-5372 FAX 03-3874-8346

<http://www.tokyo-jinken.or.jp/>